
野良家

林 ゆう

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

野良家

【Nコード】

N1520M

【作者名】

林 ゆう

【あらすじ】

劣等感だらけの次期党首候補、わが道を行く従者
二人の出会いはお互いをどう成長させるのか・・・。

変わるもの、変わらないもの

俺たち野良家は代々、山野家に仕えている。
俺の父親、野良 満熊も山野家頭首、山野 虎影を主とし、母さん
や俺を家に残して山野家の城に行つたきりだ。顔も声も覚えていな
いから、悲しくも無いし、会いたいとも思わない。俺は俺の道を勝
手に進む。

俺は主なんかいない。

一話 変わるもの、変わらないもの

青、空の色。全てを包み込む色
緑、草の色。命を育んでいる色
赤、血の色。死の色、死を連想させる色

こんなにも天気がよく気持ちのいい日でも、俺たちの国では争い事が
絶えない。
飢えを凌ぐために、略奪を始める者、ただ殺しがしたいが為に村を

襲った者もいた
いろんな奴らを見て来たが、この国の連中はどいつもこいつも腐った奴等ばかりだ。

野党が村を襲っている、助けてくれ、お願いだ。
土下座までしてくる男を無視できるほど、野良 犬慶^{けんけい}は悪い人間ではない
しかも犬慶^{けんけい}の住んでいる村から馬を使っても3日間かかる所からわざわざ足を運んで来たのだ、7日は歩き通しだっただろう。男の足はボロボロだった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1520m/>

野良家

2010年10月20日13時48分発行